



児島 恵美子

Emiko Kojima

今、医薬品業界が熱い。調剤薬局が病院の周囲に乱立し、ドラッグストアが薬だけでなく雑貨や食品まで扱い、コンビニに薬が並び、

医薬品のネット販売が解禁になり、求人広告には「薬剤師時給3千円」という文字が躍る。

3月1、2日に第99回薬剤師国家試験が実施された。薬学部が6年制になり3度目の国家試験だ。6年制になり、一度は低迷した薬学人気があるがここ2年ほどは盛り返しをみせている。その理由の一つに薬剤師は就職に有利なことがあげられる。薬剤師免許は取得すれば、一定以上の給与も見込める。しかし、この免許を得るのは簡単なことではない。

そんな薬学業界の風雲児が児島恵美子氏だ。

児島氏は自身が国家試験に一度失敗した経験を笑顔で話す。「当時は本当に中途半端な立場でした。身の置き所がなかったです。就職はできたのですが、業務は薬剤師としての業務ではなく、アルバイトとほとんど変わらない。また、社会の理解がありませんでしたから、「薬剤師国家試験なんて落ちるの？」と平気で言われましたからね。そりゃあ、当時は辛かったですよ」。続けて、「でも、落ち込んでばかりいられないじゃないですか。どうすれば確実に国家試験を突破できるのかと自分なりに、オリジナルのゴロ合わせを創

Medisere 児島 恵美子プロフィール

神戸薬科大学卒業。武庫川女子大学大学院薬学修士号取得。名古屋商科大学大学院経営学修士号取得(MBA取得)。認定薬剤師。内閣府認証心理カウンセラー。認定スポーツファーマシスト。2007年株式会社メディセレを創設。2008年メディセレ教育出版(株)を創設。2012年メディセレ薬局を開局。NPO法人医療心理学協会理事長。

失敗を成功に変える

『絶対的プラス思考』



メディセレ講義風景

クールでは指導している。

児島氏は自身の国家試験浪人時代の経験を、現在の予備校運営に存分に活かしている。「まずは国家試験に不合格となった薬学生の居場所を創らないといけないと思いました。そしてせっかくな浪人するのですから、絶対的プラス思考でこの経験を無駄にすることなく、社会で活躍するきっかけにして欲しいのです。そんな思いを実現する場所として、メディセレを創設しました。人生に無駄な経験はありませんから」とも笑顔で語った。児島氏のトレードマークはエネルギーに満ちた笑顔だ。児島氏は自身のユーモアセンスも抜群だが、本当によく笑う。

第99回国家試験は、過去に類を見ないほど難化の傾向を示した試験であった。今年は何年以上に涙をのんだ受験生が多かったに違いない。しかし、そんな経験も無駄ではないし、無駄にしているといけない。社会を明るくできる薬剤師、多くの人にヘルスケアや医療を通じて貢献できる薬剤師を一人でも多く輩出すること、これが児島氏に与えられた使命なのだろう。大阪、東京、名古屋と5年の間に開校し、先日は神戸校も開校した。児島氏の薬学生への熱い思いは日本を駆け抜けていく。

問い合わせ: メディセレスクール <http://www.medisere.co.jp/>